平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32620
政策名（章）	第2章　質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当局	都市建設局
基本施策名（節名）	第6節　下水道の整備と管理	施策所管課	下水道整備課
施　策　名	雨水対策の推進	課長名	竹田　幹夫

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

本市では市街化の進展により雨水の流出量が増大し、浸水被害が発生しています。そのため、平成16年8月に策定された「相模原市雨水対策基本計画」に基づき、平成17年度～26年度の10年間に、特に床上・床下浸水被害箇所や道路冠水被害箇所等の解消を目的に、緊急雨水対策事業箇所として132箇所を定め、優先的に事業を進めるため「雨水対策整備プログラム」を作成し雨水管整備を進めています。

・溝上大野台雨水幹線整備事業、麻溝台地区雨水幹線整備事業等

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	1,728,789	1,848,830	溝上大野台雨水幹線整備事業に着手したため事業費が増加。
人件費	100,706		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	2,592	2,619	
合計	1,829,495	1,848,830	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

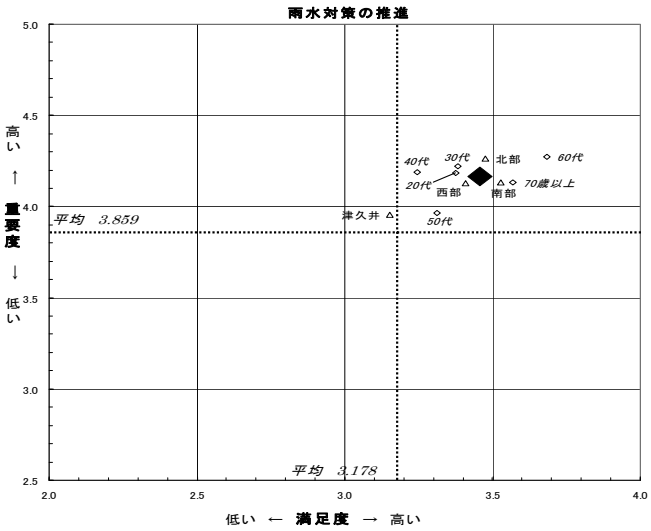
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	緊急雨水対策事業整備箇所	「雨水対策整備プログラム」に定めた緊急雨水対策箇所に対して、当該年度までの整備累計箇所に対して浸水被害が解消できた箇所	「雨水対策整備プログラム」に定められた浸水被害解消の目標箇所数。平成26年度までに　114箇所を整備予定。
指標2	床上・床下浸水被害未対策箇所における被害発生件数	上記プログラム中、床上・床下未対策箇所に対して、当該年度に床上・床下浸水被害が発生した件数。	床上・床下浸水被害未対策箇所における被害発生想定件数。
指標3	道路冠水被害未対策箇所における被害発生件数	上記プログラム中、道路冠水未対策箇所に対して、当該年度に道路冠水被害が発生した件数。	道路冠水被害未対策箇所における被害発生想定件数。
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：箇所）	H17	42.0	65.0	65.0	66.0		73.0		75.0	
事業費/人員										
指標2（単位：件）	H17	25.0	15.0	3.0	15.0		13.0		11.0	
事業費/人員										
指標3（単位：件）	H17	47.0	34.0	4.0	33.0		28.0		28.0	
事業費/人員										
指標4（単位：%）										
事業費/人員										
指標5（単位：%）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.456で121施策の中で6番目。
〇重要度は4.164で24番目である。
〇改善要望度は0.0193で55番目である。
〇年齢別にみると、満足度は60代で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、50代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	評価の対象となる指標を、前回の指摘事項を反映し、より施策の目的にあった指標に変更したため。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	(4) 2 1	(4) 2 1	
合計		6	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	雨水管を整備するにあたり、道路が狭小であったり、地下埋設物が輻輳しているなど整備が困難である。更に、整備に必要な事業費（補助金等）の確保も必要である。
解決策	実際に雨水管を設置するまでに設置位置の調整や作業用地の確保等、住民等の協力を得ながら計画的に整備を進めていく。また、限られた財源の中で合理的、計画的に事業が実施できるよう検討していく。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

雨水対策の推進

コード	32620

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
下水道整備課	溝上大野台雨水幹線整備補助事業 （継続費）	411,419	370,000	122,912	1	1	2.00	615,479	631,579
下水道整備課	麻溝台地区雨水幹線整備補助事業 （継続費）	472,621	0	0	1	2	2.00	50,370	66,470
下水道整備課	公共下水道 整備事業（補助事業） ［雨水対策分］	879,728	1,529,125	1,529,125	1	3	4.00	941,119	973,319
下水道整備課	公共下水道 整備事業（その他整備）［雨水対策分］	60,748	55,500	55,500	1	4	2.00	79,102	95,202
下水道整備課	公共下水道 測量設計委託［雨水対策分］	3,098	5,000	5,000	1	5	1.00	5,665	13,715
下水道整備課	負担金・補償金［雨水対策分］	20,488	87,000	87,000	1	6	1.00	36,263	44,313
下水道管理課	雨水浸透施設設置助成事業	728	1,200	1,200	3	8	0.01	791	872
下水道整備課	排水路整備事業（市内一円）	0	2,163	2,163	1	7	0.50	0	4,025
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		1,848,830	2,049,988	1,802,900			12.51	1,728,789	1,829,495